

平成23年6月4日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬



### 記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降)平成21年度につづき、継続して実施できた。(ボランティアも増加)
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。
今後の課題	都合で参加できなくなった人の代わりは確保できたが、ボランティア人員の確保・増員(現状13名)が必要。  パトロール実施をもっと目立たせるよう工夫(帽子など)が必要とのことで、22年度事業で帽子を手配した。(市統一の帽子)  23年度は電動自転車を3台追加購入予定。

平成23年6月4日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	広報紙発行事業
事業実施前の状況	事務費予算の範囲内で年1回発行。(白黒印刷)
事業実施後の状況	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。
事業の効果	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので地域への活動内容のPRができた。
今後の課題	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で募集を続けることが必要。

平成23年6月4日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	地域イベント備品整備事業
事業実施前の状況	老人招待昼食会等地域行事に、小学校の古い机等を活用していた。 高さのばらつき等があり、設営に苦勞。
事業実施後の状況	22年度は一部しか購入できなかったが、新しいテーブルを使って 設営できた。
事業の効果	設営が簡単になり、また、会場の雰囲気もよくなった。
今後の課題	23年度で不足数の追加手配をする。 23年度は台数が増えるので、保管場所を学校と協議すること。

平成23年6月4日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬



記

事業の名称	「ポイ捨て禁止」看板設置事業
事業実施前の状況	道路際、川等にゴミのポイ捨て・不法投棄があった。
事業実施後の状況	市製作の「ポイ捨て禁止」看板を手配、必要な場所に設置した。
事業の効果	看板設置場所近くでは、ゴミの不法投棄が減ったように思われる。
今後の課題	現在3か所しか設置できていないので、新たな設置場所の募集が必要。

平成23年6月4日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

## 記


事業の名称	水路転落防止柵設置事業
事業実施前の状況	農業用水路に転落防止柵がない箇所が多い。 (PTAアンケート調査でも指摘)
事業実施後の状況	平成20年度申請で未実施個所のうち3か所の防護柵設置が完了
事業の効果	実施した10か所(平成20年度からの累計10か所)については水路等への転落の危険は減少した。
今後の課題	校区内の危険個所が多くあり、次年度以降優先度を考慮して継続実施することが必要。 22年度持ち越し案件2件実施が必要。 水利組合・隣接地所有者等との事前調整が必要。

平成23年6月4日

# 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	道路安全対策事業
事業実施前の状況	小学校正門までのグリーンベルトの色が退色、幅も狭くなっていた。 また、途中までしか設定されていない。
事業実施後の状況	幅も可能な範囲で広げ、長さも小学校正門まで設定できた。
事業の効果	小学生の登下校時の安全が確保できた。
今後の課題	退色時再度塗装が必要なので、より永く持つ塗装方法の検討が必要。

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 高木 正彬 

記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)  平成20年度要望のうち、予算の関係で22年度に繰り越したものがあつた。
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあつたうち、22年度に繰り越した案件を中心に街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。  農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。  私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となつたが、地主をどのように調査するか検討が必要。